

9月28日(日)は世界狂犬病予防デーです。世界で初めて狂犬病ワクチンを開発したフランスのルイ・パスツール(1822-1895)の命日に昨年から世界規模で狂犬病についての知識と予防の啓発活動をおこなっています。

世界狂犬病予防デー

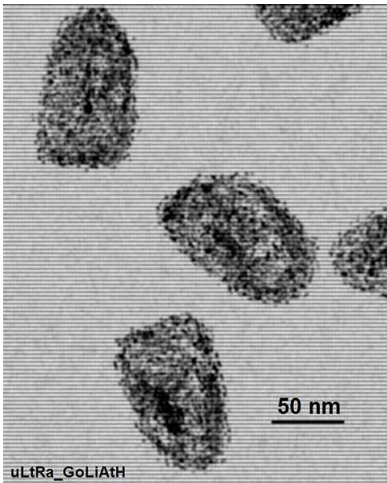
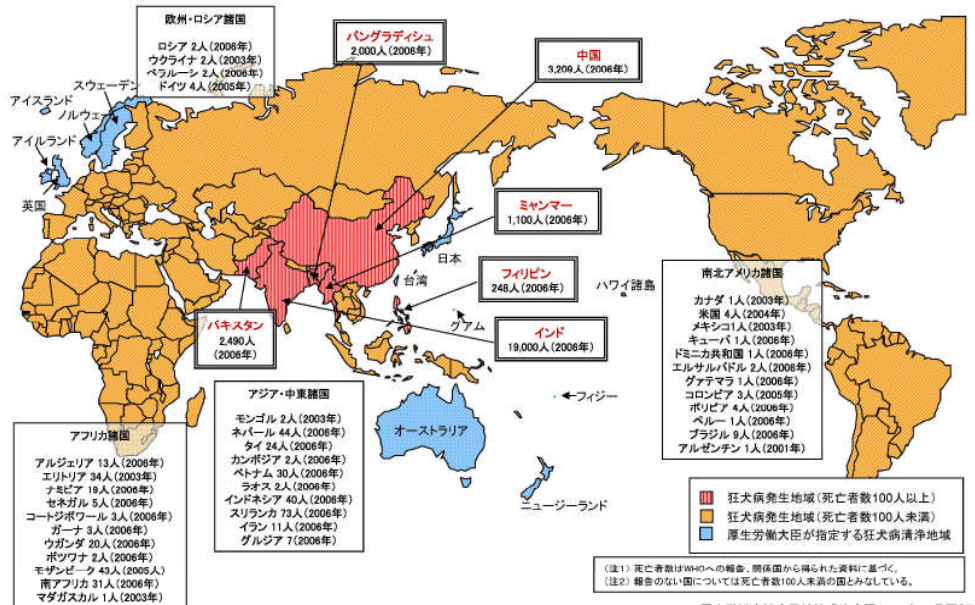
World Rabies Day 2008

狂犬病はイヌ・ネコなどの動物ばかりでなくヒトも感染し、いったん発症すると100%死亡します。世界で毎年6万人近くが死亡し、その98%は東南アジアの人々です。日本では1956年以来狂犬病の発生はありませんが、一昨年(2006年)11月にフィリピンでイヌに咬まれて帰国した2人の日本人が京都と横浜で相次いで発症して数日後に死亡しました。外国でイヌに咬まれたら直ちにワクチンを打ちましょう。また、日本に狂犬病が侵入しないように、飼い犬の登録と年1回の予防接種を必ず受けましょう(動物病院や集合注射の案内が市報などがあります)。



狂犬病の伝播者になりうる放浪犬をなくすため、正しい飼い方をして、むやみに繁殖しないように去勢・不妊処置を受けさせましょう。

狂犬病の発生状況



狂犬病ウイルスの電子顕微鏡写真



この活動の主催者とホームページ

Alliance for Rabies Control, established in Scotland in 2006 and the headquarters of the organization (registered charity No. SC 037712)
<http://www.rabiescontrol.net/>
<http://www.worldrabiesday.org>